



1. 外部階段及び外部テラス
2. 高層部吹き抜け
3. 低層部吹き抜け
4. 2階テラス

明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア概要

- 所在地 東京都杉並区永福1-9-1
- 建築主 (株)明治大学
- 設計者 (株)松田平田設計
- 施工者 戸田建設(株)
- 竣工日 2022年3月31日

- 敷地面積 53,224㎡
- 建築面積 2,662㎡
- 延床面積 12,242㎡

- 階数 地上8階
- 構造 鉄骨造、一部コンクリート充填鋼管造



詳細や他の写真などは
左記の二次元コードから
Webページにアクセスしてご覧ください。

本計画には、エネルギー効率を高める工夫も随所に見られる。BEIでは〇・四八という優れた数値を達成しており、竣工後も学内研究室と共同で実測調査と初期性能検証が実施されている。グループボックスを活かすための床吹き出し空調計画など、建築空間の特性と一致した環境計画がなされている。大教室のAHUの排気をモジュールチャラーの給気利用し、排熱効率を向上させる仕組みは特徴的な試みである。これらの取組みは、環境性能に配慮した大学建築の好例と言えるだろう。

運用開始後も、積極的に利用方法を試行錯誤している点も特筆すべきである。学内外の研究室と共同で実態調査を行い、行動観察やアンケートを通じて使われ方の実態を把握し、学生の意見を集約して家具・什器の配置調整を行うなど、現場での実践が続けられている。このような取組みを継続することで、コロナ禍以降の多様な学びのスタイルに対応し、変化に应变ながら、学生の活気あふれる空間として成長していくことが期待される計画である。

本計画の大きな特徴は、施主・設計・施工が一体となり、コロナ禍を経て大きく変化した学生たちのニーズを丁寧に分析し、多種多様な学びのスタイルに対応した空間を提供することに挑戦した点である。施設の中心となる吹き抜けの周りには、様々なサイズの「ボックス」が配置されており、個人学習からグループ学習、カジュアルな交流まで、極めて幅広い学生の活動を支える多様な居場所が創出されている。

この外観や内部吹き抜け周りの構造柱は細く、軽快な表現となっている。これは耐震要素の集約配置など、随所の構造的工夫によって実現されたものである。施工面では、工事車両の侵入口が限定されるなか、近接する校舎を使用しながらの新築と解体や、旧校舎の意匠の継承を意図とする鉄骨梁先の鉄筋コンクリート造下がり壁など、敷地条件や意匠的要求に丁寧に応える計画がなされている。

和泉ラーニングスクエアは、和泉キャンパスの段階的再整備の一環として計画された新校舎プロジェクトである。堀口捨己による旧校舎の老朽化や、授業形態の変化に対応するとともに、学生の主体的・対話的な学びを促進する新しい学習スタイルの確立を目指している。

この「ボックス」のモチーフが、施設全体を一体感のある学びの場としている。テラスと外部階段からなる特徴的な外観は、旧校舎の屋外スロープによる意匠を継承し、現代的に再解釈したものである。テラスは学生の居場所の選択肢を増やすとともに、建物に彫りの深い表情を与え、前面の広場を含めた内外の一体感を生み出している。

選定理由【選考委員】

赤司泰義・篠崎淳・北典夫

明治大学創立一四〇周年記念 和泉ラーニングスクエア

日建連表彰2024



第65回BCS賞

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2024年で65回を数えました。

《日建連表彰2024 第65回BCS賞受賞作品》 石川県立図書館／エスコンフィールドHOKKAIDO／Otemachi One／OKI本庄工場H1棟／春日台センター／京都東山計画(山荘 京大和・パーク ハイアット 京都)／高槻城公園芸術文化劇場／東京ミッドタウン八重洲／ところざわサクラタウン／那須塩原市図書館／福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館／MIYASHITA PARK／明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア／屋島山上交流拠点施設「やしまー」／読売テレビ新社屋